



## 平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーセ

コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門統括

(氏名) 渡辺 康人

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	3,806	△2.2	345	△0.1	369	△19.7	165	△45.8
25年8月期第3四半期	3,892	10.1	345	37.5	460	64.6	304	108.6

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 202百万円 (△54.4%) 25年8月期第3四半期 443百万円 (238.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	22.29	22.15
25年8月期第3四半期	41.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	7,067	5,621	79.2
25年8月期	7,559	5,596	73.7

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 5,595百万円 25年8月期 5,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
26年8月期	—	12.50	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,079	△7.0	271	△49.2	276	△54.1	123	△73.7	16.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年8月期3Q	7,763,040 株	25年8月期	7,763,040 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年8月期3Q	349,385 株	25年8月期	359,365 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期3Q	7,408,689 株	25年8月期3Q	7,402,851 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の家庭用ゲーム業界におきましては、平成25年の国内家庭用ゲーム市場規模が前年度比約8%減の4,465億円(株式会社KADOKAWA調べ)で推移したとの見方もある中、ゲームソフトの販売状況は、累計販売台数が本年3月末時点で国内で1,500万台、全世界で4,300万台を突破した「ニンテンドー3DS」向けの複数タイトルがミリオンヒットとなるなど、有力タイトルを中心に概ね好調に推移しました。また、昨年末に海外で発売された新型ゲーム機「プレイステーション4」及び「Xbox One」は好調な滑り出しとなり、国内でも本年2月に「プレイステーション4」が発売を開始し、「Xbox One」も本年9月に発売される予定となりました。これによって「Wii U」を含む次世代据置型ゲーム機が出揃い、今後のゲーム市場の活性化が期待される状況となりました。さらに、スマートフォンゲーム市場の台頭により、日常的にゲームに触れる人口が国内外を問わず幅広い年齢層、ユーザ層へと広がる中、家庭用ゲーム市場におきましては、ゲームの操作性や豊かなゲーム性などゲーム専用機ならではの魅力の訴求に加え、ソフトのダウンロード販売システムの整備、ゲーム体験の共有機能などオンライン機能を活用した各種施策をゲームメーカーが推し進めており、こうした展開の今後についても注目される状況となりました。

モバイル業界におきましては、スマートフォンの普及率が引き続き拡大し、本年3月末における国内のスマートフォン契約数は5,734万件、フィーチャーフォンとスマートフォンの合計契約数に占める比率は47%に達した(株式会社MM総研調べ)との見方もある中、スマートフォンやタブレット端末向けのコンテンツ市場も好調に推移しました。コンテンツ市場におきましては、ゲーム分野に加え、生活、健康、ビジネス、教育など非ゲーム分野の市場も活況を呈しており、スマートフォンの高い性能を活かしてリッチなコンテンツを楽しめるネイティブアプリの増加が顕著となりました。一方で、コンテンツ市場における競争が過熱し、一部の有力コンテンツに収益が集中する傾向も高まっており、開発案件の大型化・高度化によるコストの増加や開発期間の長期化、ネイティブアプリ開発に必要な人材の不足など、事業環境が大きく変化する状況となりました。

当社グループは、こうした事業環境の変化を成長機会と捉え、幅広いクライアントとの関係を引き続き強化するとともに、当社グループの中心事業であるゲームソフト開発事業で培った技術力・開発力を活かした企画・提案力を通じて、受注拡大に努めてまいりました。また、東南アジア向けコンテンツ配信事業においては、昨年12月にシンガポール、本年2月にフィリピン、本年3月にインドネシアでコンテンツの配信を開始し、配信サービスの品質向上及び配信コンテンツのラインナップ拡充を図るとともに、フィリピン現地子会社の開発体制の増強にも着手いたしました。さらに、他のASEAN諸国においても、新たな配信先の開拓に向けた取り組みを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、ゲームソフト開発事業においてロイヤリティ売上を想定以上に計上できたほか、モバイル開発事業の運營業務が堅調に推移したものの、ゲームソフト開発事業において一部のスマートフォン向け大型案件の完了時期が顧客による開発スケジュールの変更に伴って、第4四半期以降にずれ込んだことや、モバイル開発事業において受注に至らなかった案件が発生したことから、売上高38億6百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益3億45百万円(前年同四半期比0.1%減)、経常利益3億69百万円(前年同四半期比19.7%減)、四半期純利益1億65百万円(前年同四半期比45.8%減)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け7タイトル、パソコン向け1タイトル、携帯端末向け23タイトルの合計31タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### ①ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、一部のスマートフォン向け大型案件の完了時期が顧客による開発スケジュールの変更に伴って、第4四半期以降にずれ込んだものの、当第2四半期から当第3四半期に完了時期がずれ込み、開発売上を計上できたスマートフォン向け大型案件があったことや、その他のタイトルに関してはほぼ計画どおり開発を完了することができたことから、開発売上は26億62百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、ニンテンドー3DS向けタイトルやパチンコ・パチスロ案件が順調に推移した結果、84百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は27億47百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益は3億68百万円(前年同四半期比19.8%増)となりました。

#### ②モバイル開発事業

モバイル開発事業におきましては、顧客による開発スケジュールの変更に伴って、完了時期が当第3四半期に変更となっていた大型のソーシャルゲーム案件の開発を完了できたものの、受注に至らなかった案件が発生したことから、開発売上は4億16百万円となりました。

運営売上につきましては、既存のソーシャルゲーム案件を中心に堅調に推移した結果、3億円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、スマートフォン向けコンテンツのロイヤリティ売上が好調に推移した結果、83百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は8億円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益は1億15百万円(前年同四半期比179.8%増)となりました。

#### ③その他事業

その他事業におきましては、パソコン向けアバター制作業務が堅調に推移したものの、その他のコンテンツ開発の受注状況が低調に推移したことから、開発売上は1億28百万円となりました。

運営売上につきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズが開始したスマートフォン向けコンテンツ配信サービス「テイクアウトライブ/Take Out Live<sup>※</sup>」の提案営業を積極的に推進し、音楽及びエンターテインメント業界、ブライダル業界など様々な業種からの引き合いが増加したものの、受注金額が計画を下回る形で推移したことから、39百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、Wi i U向け家庭用カラオケ楽曲配信事業を中心として、90百万円となりました。

この結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億58百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。また、東南アジア市場に向けたコンテンツ配信事業における先行投資の影響により、営業損失1億38百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

※テイクアウトライブ/Take Out Live… コンサートやイベントなどのライブ映像や楽曲をイベント終了後すぐにスマートフォンにダウンロードし、視聴できるサービス。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して4億91百万円減少し、70億67百万円となりました。資産の部におきましては、仕掛品などが増加した一方で、現金及び預金、売掛金、有価証券、繰延税金資産、短期貸付金が減少したことなどにより流動資産が6億6百万円減少しております。また、繰延税金資産の減少があったものの、ソフトウェア、投資有価証券などが増加したこと及び賃貸不動産設備の改修に伴う資本的支出により、固定資産が1億14百万円増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5億17百万円減少し、14億46百万円となりました。これは主に、未払法人税等、前受金及び賞与引当金などの減少によるものであります。

純資産につきましては、配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の変動により前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、56億21百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年10月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、本日別途公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社である東星軟件(上海)有限公司は、平成25年8月30日開催の当社取締役会において解散を決議し、現在、清算手続中であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,443,311	2,181,541
売掛金	467,874	278,309
有価証券	111,751	9,573
仕掛品	1,013,289	1,041,530
繰延税金資産	286,533	218,090
短期貸付金	33,694	—
その他	74,532	95,809
流動資産合計	4,430,986	3,824,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,207,079	1,207,292
減価償却累計額	△537,505	△567,585
建物及び構築物(純額)	669,574	639,706
工具、器具及び備品	281,704	282,476
減価償却累計額	△260,181	△260,331
工具、器具及び備品(純額)	21,523	22,144
土地	709,565	709,565
その他	80,432	68,326
減価償却累計額	△69,822	△28,202
その他(純額)	10,610	40,124
有形固定資産合計	1,411,272	1,411,541
無形固定資産		
ソフトウェア	65,432	69,134
ソフトウェア仮勘定	16,548	—
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	84,115	71,269
投資その他の資産		
投資有価証券	780,125	880,491
繰延税金資産	22,413	12,805
投資不動産	348,332	368,235
減価償却累計額	△42,535	△46,584
投資不動産(純額)	305,797	321,651
関係会社長期貸付金	—	15,681
その他	548,580	553,162
貸倒引当金	△24,000	△24,000
投資その他の資産合計	1,632,917	1,759,792
固定資産合計	3,128,305	3,242,602
資産合計	7,559,292	7,067,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,798	86,826
短期借入金	20,000	10,000
未払法人税等	265,153	—
前受金	767,581	603,289
賞与引当金	226,847	158,338
役員賞与引当金	—	9,750
その他	337,349	298,005
流動負債合計	1,698,730	1,166,209
固定負債		
繰延税金負債	—	5,467
役員退職慰労引当金	225,405	235,413
その他	38,954	38,954
固定負債合計	264,359	279,835
負債合計	1,963,089	1,446,044
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,629,128	3,605,919
自己株式	△339,441	△329,865
株主資本合計	5,569,871	5,556,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,335	6,595
為替換算調整勘定	30,979	32,995
その他の包括利益累計額合計	3,644	39,590
新株予約権	10,242	12,154
少数株主持分	12,444	13,428
純資産合計	5,596,202	5,621,412
負債純資産合計	7,559,292	7,067,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,892,498	3,806,268
売上原価	2,934,009	2,798,488
売上総利益	958,488	1,007,779
販売費及び一般管理費	612,511	662,237
営業利益	345,976	345,542
営業外収益		
受取利息	5,934	8,516
受取配当金	8,220	7,638
不動産賃貸料	37,411	36,861
為替差益	88,981	15,066
雑収入	14,850	40,949
営業外収益合計	155,398	109,031
営業外費用		
支払利息	289	245
持分法による投資損失	18,877	61,012
不動産賃貸費用	20,927	22,225
雑損失	766	1,318
営業外費用合計	40,861	84,801
経常利益	460,513	369,772
特別利益		
固定資産売却益	2,968	7,999
投資有価証券売却益	—	20,709
投資有価証券償還益	37,501	—
持分変動利益	4,561	—
清算配当金	34,884	—
特別利益合計	79,915	28,709
特別損失		
固定資産売却損	455	—
固定資産除却損	7	35
投資有価証券売却損	—	6,657
投資有価証券償還損	1,009	—
特別退職金	—	4,245
特別損失合計	1,472	10,938
税金等調整前四半期純利益	538,956	387,543
法人税、住民税及び事業税	240,498	152,642
法人税等調整額	△8,289	68,758
法人税等合計	232,209	221,400
少数株主損益調整前四半期純利益	306,747	166,142
少数株主利益	2,014	984
四半期純利益	304,732	165,157

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	306,747	166,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,124	33,930
為替換算調整勘定	34,698	2,016
持分法適用会社に対する持分相当額	6,089	—
その他の包括利益合計	136,911	35,946
四半期包括利益	443,659	202,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,644	201,104
少数株主に係る四半期包括利益	2,014	984

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,825,160	821,139	246,198	3,892,498	—	3,892,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,088	143,325	1,645	151,059	△151,059	—
計	2,831,248	964,464	247,843	4,043,557	△151,059	3,892,498
セグメント利益又は損失(△)	307,923	41,180	△3,127	345,976	—	345,976

(注) 1 売上高の調整額△151,059千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,747,411	800,490	258,366	3,806,268	—	3,806,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	136,646	71,358	650	208,655	△208,655	—
計	2,884,057	871,848	259,017	4,014,923	△208,655	3,806,268
セグメント利益又は損失(△)	368,982	115,222	△138,662	345,542	—	345,542

(注) 1 売上高の調整額△208,655千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。